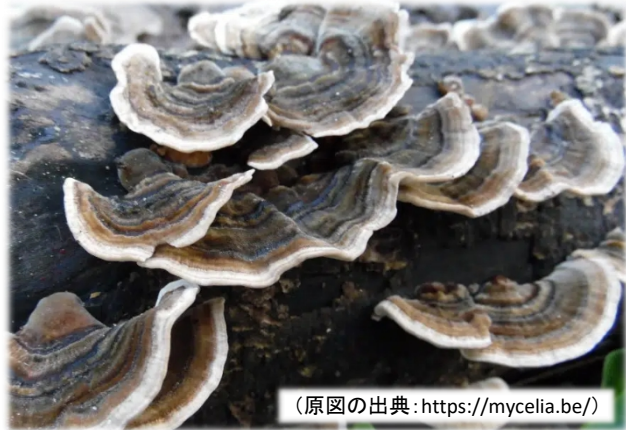


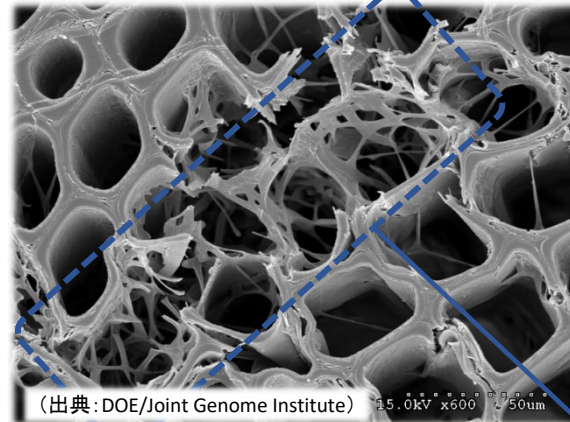
「フルボ酸」って何? ~その2:その中身と有効性~



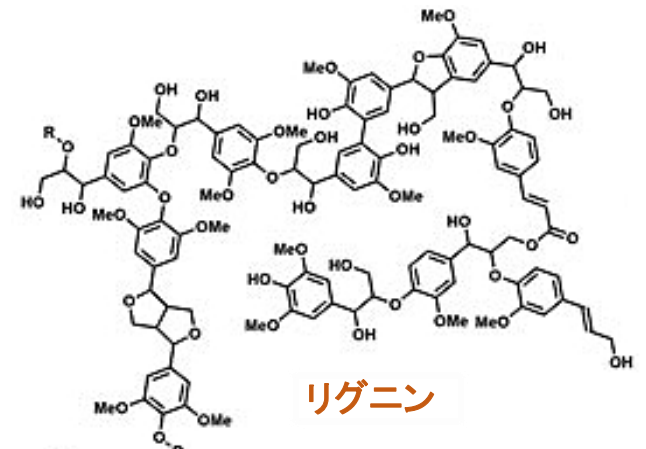
白色腐朽菌によって、非常に安定性の高いリグニンが分解されていく。



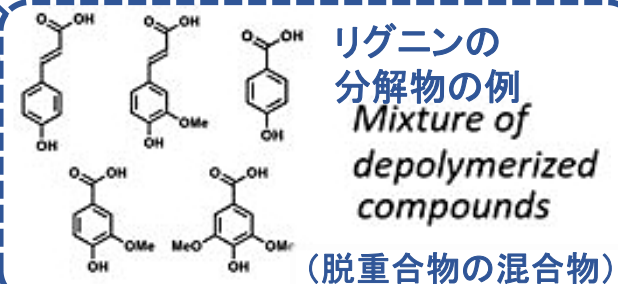
白色腐朽菌がリグニンを分解していくと、木質が白くなる。



木の茶色はリグニンによるものであり、セルロースが残ると白く見える。

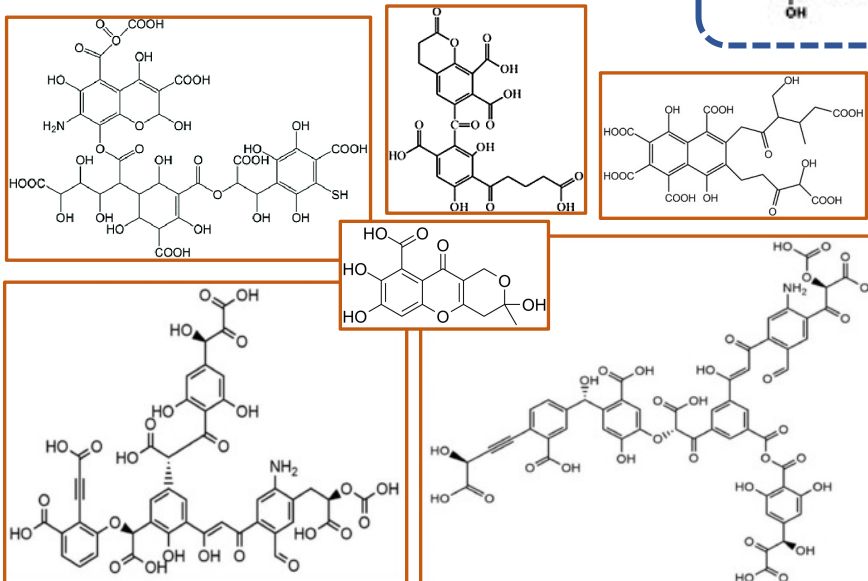


Lignin-depolymerizing enzymes (脱重合酵素)



フルボ酸 (Fulvic Acid) の一例

分子量は、下記のものは300~1,000程度であるが、数千~数万程度のものもあり、それらの混合物である。



・想像できるように、「フルボ酸」だと謳う商品によって、含まれる物質の種類や割合は様々である。さて、あなたなら、「フルボ酸」を、どのように評価するか？

・「フルボ酸」の良い商品に巡り合えば、これはポリフェノールの一種であり、ヒトに対して、抗酸化作用、微量ミネラルの吸収促進、腸内細菌の育成などが期待される。



リグニンの分解物
+
莫大な種類の微生物
+
土壌を含めた環境中の物質

各種の化学反応

土壌全体をアルカリ溶液で抽出

溶ける

酸を添加

溶ける

フルボ酸

溶けない

フミン酸 (腐植酸)

溶けない

ヒューミン